



中国ランタン装飾

期間中、長崎新地中華街をはじめ、浜市、観光通りなど市内中心部に約1万5千個にも及ぶ中国ランタン(中国提灯)などが飾られ、長崎の街は極彩色の灯で彩られます。また、オブジェには大きささまざまなものがあり、干支のオブジェは大きいもので高さが約10メートルのものもあります。

点灯式 2月16日(金)《17:30~18:00》(一斉点灯18:00)
(新地中華街会場、中央公園会場)

点灯期間 2月16日(金)~3月4日(日)

点灯時間 17:00~22:00 (3月4日(日)は20:00まで)
(但し、新地中華街会場、浜んまち会場、中央公園会場については12:00から点灯
2月23日(金)・24日(土)は23:00まで)



銅座川にきらめく「桃」色の灯り

桃色のランタンが幻想的なあまい雰囲気を創り出す銅座川一帯。桃色の光があなただのほほをかわいく照らします。

場所 新地中華街会場

幻想に酔う「中島川公園」

中島川公園会場にしかない黄色いランタンが川面に映り、静寂の中に幻想的な風景を創り出します。また、川に浮かべるオブジェもあり、水面と上空からの光が中島川をロマンティックな世界に誘います。

場所 中島川公園会場

買い物も楽しい「浜んまち会場」

アーケードの天井をランタンがうめつくし、商店街が極彩色に。また、吉祥オブジェが多数並び撮影スポットとしてもオススメ。期間中の週末は、たくさんの店舗が営業時間を午後9時まで延長。ランタンを満喫した後は、お買い物もゆっくりお楽しみください。

場所 浜市アーケード・ベルナード観光通り

縁結びなら「月下老人」

「月下老人」は中国の縁結びの神様。運命の二人の足首を赤い糸で結ぶのだそうです。良縁を求める人や好きな人と結ばれたい人は、月下老人にお願いしてみてください。長崎ランタンフェスティバル特製の「赤い糸のお守り」(100円)をご用意してお待ちしています。

場所 浜市アーケード・浜屋前

※各イベントは、天候や都合により変更、中止する場合があります。

ランタンフェスティバル用語解説

2018長崎ランタンフェスティバル

このお祭りは、長崎新地中華街の人たちが、街の振興のために、中国の旧正月(春節)を祝う行事として始めたもので、もともと「春節祭」として長崎新地中華街で行われていましたが、平成6年から「長崎ランタンフェスティバル」として規模を拡大し、長崎の冬を彩る一大風物詩となりました。「2018長崎ランタンフェスティバル」は、平成30年2月16日(春節)から3月4日の17日間にわたり開催されます。期間中は、中国の「元宵節」3月2日にあわせてランタン(中国提灯)を飾る風習に習い、市内中心部が約1万5千個にも及ぶ極彩色のランタンなどで彩られます。また、中国色豊かなイベントも繰りひろげられ、皆様を魅了します。

春節(しゅんせつ)

「春節(正月)」は中国にとって、もっとも重要な祝日です。「春節」は旧暦の1月1日で、春節の前夜を「除夕(大晦日の夜)」といい、家族みんなが集まり、寝ないで新年を迎えます。

元宵節(げんしょうせつ)

「元宵節」は旧暦の1月15日で、天の精霊が空を飛ぶのを見ることができると信じられてきました。この夜、雲や霧が出ていても精霊を見つけやすいように提灯(ランタン)を灯して町を練り歩くお祭りが始まったといわれています。また、元宵節には「元宵」と名づけた団子を食べる風習があり、この団子は一家団らん・一家の幸せを象徴するもので、元宵節には欠かせない食べ物です。長崎ランタンフェスティバルでも3月2日(金)の元宵節に、この元宵団子を崇福寺で無料で振る舞います。

